



第108号 目次

- 日本技術史教育学会2016年度全国大会の開催にあたって……………久間英樹(1)
 日本技術史教育学会2016年度全国大会開催案内……………久間英樹(2)
 会長挨拶・新理事紹介・関西支部行事案内……………(3)
 お知らせ・理事会議事録・編集後記……………(4)

【全国大会】

日本技術史教育学会2016年度 全国大会(松江)の開催にあたって



2016年度全国大会実行委員会

実行委員長 久間英樹 (松江高専)

日本技術史教育学会2016年度全国大会が島根県松江市で開催されることとなりました。皆様を歴史ある西の小京都、松江市にお迎えすることができ、大変光栄に存じます。皆様方のご協力により大きな成果が得られますことを願っております。

島根県といえば、神話のふるさとというイメージを持たれる方が多いと思われま。しかし、たたら製鉄、世界遺産・石見銀山の坑道掘削技術や銀精錬技術、平田の一式飾りなど、技術・技能の歴史の観点から興味深い素材を多数有する地域でもあります。その島根県の県庁所在地である松江市は人口約20万人を有する特例市であり、現在、中核市への移行を進めております。昭和26年(1951年)には松江国際文化観光都市建設法が制定され、奈良市・京都市と並んで国際文化観光都市となりました。さらに、平成7年(1995年)には出雲・宍道湖・中海拠点都市地域に指定され、山陰の中心都市として発展してきております。この圏域は新潟市圏域、金沢市圏域と並んで、日本海沿岸の三大人口集積圏域の一つに数えられています。

観光都市松江を代表する松江城は現存12天守のひとつで、山陰地方で唯一の現存天守です。関ヶ原の戦いの功績により、出雲を与えられた堀尾吉晴によって築かれました。高さ30m、5層6階の天守は桃山様式の天守として築城当時のままの姿を残しています。また、松江城は宍道湖の湖岸に建てられており、日本三大湖城のひとつでもあります。築城当時からいまでも残る松江城を囲む約3.7kmの堀川を小舟でめぐる「堀川めぐり」も楽しめます。2015年に天守が国宝に指定さ

れました。講演会当日には、松江城が国宝に指定される際に尽力されました松江歴史館館長藤岡大拙先生の特別講演も予定しております。見学会では、この松江城や堀川遊覧に加えて、小泉八雲記念館、日本最古の大社造りが現存する神魂神社、縁結びの神社として人気の八重垣神社等の見学を予定しています。

また本大会では、松江工業高等専門学校専攻科生によるポスター発表も予定しています。松江高専は、全国に51校ある国立高等専門学校の一つとして1964年に創設され、約50年の歴史があります。現在、本校は、5年制の本科5学科と、高専本科卒業者が進学する2年制の専攻科2専攻を置いています。学生が将来、創造性と実践力を兼ね備えた国際的エンジニアとして活躍していけるよう、「(ま)学んで(つ)創れる(え)エンジニア」を合言葉として教育に取り組んでいます。

では12月10日、みなさまと松江の地でお会いできることを楽しみにしております。多くの方のご来駕を心よりお待ちしております。



日本技術史教育学会 2016 年度 全国大会(松江)開催案内

2016年度全国大会実行委員会 実行委員長
久間英樹(松江高専)

日時:2016年12月10日(土)9:00~17:30
場所:サンラポーむらくも2階大会議室 瑞雲
(島根県松江市殿町369 TEL0852-21-2670)
主催:日本技術史教育学会
共催:日本科学史学会・日本メカニズムアーツ研究会

【プログラム】

受付 8:30より
開会・実行委員長挨拶 9:00

【研究発表講演(1)技術史・技術文化史Ⅰ】 9:10~10:38

- (1) 9:10~9:32 「国立国会図書館憲政資料室『下村宏関係文書』に見る八田與一と嘉南大圳」
武長玄次郎(木更津高専)
- (2) 9:32~9:54 「インダス文明遺跡の実地調査研究—第2報 インドのロータル遺跡—」
渡部紘一(元松江高専)
- (3) 9:54~10:16 「たたら(製鉄)とタタル(鞣製)」
○下間頼一(元関西大学)・塩津宣子(技術文化史研究会)
- (4) 10:16~10:38 「玉の道」 ○塩津宣子(技術文化史研究会)・下間頼一(元関西大学)

【休憩】 10:38~10:48

【研究発表講演(2)工業技術・工学教育】 10:48~11:54

- (5) 10:48~11:10 「戦後復興期における青年期教育の検討—中等教育を巡る問題を中心として」
佐野 浩(新潟経営大学)
- (6) 11:10~11:32 「3次元レーザスキャナを用いた鉛採掘坑道の調査」 ○久間英樹(松江高専)・森内敦史(松江高専)・本多将和(松江高専)・福岡久雄(松江高専)
- (7) 11:32~11:54 「エロランの歴史と松江高専の歩み」
本多将和(松江高専)

【昼食休憩】 11:54~13:00

【特別講演】 13:00~14:00

演題:「国宝松江城築城への軌跡」
講師:藤岡大拙(松江歴史館館長)

【ホステ発表】 14:00~14:50

松江高専の学生(専攻科)による発表。
(2階小会議室 研究発表講演会場隣)

【研究発表講演(3)技術史・技術文化史Ⅱ】 14:55~16:01

- (8) 14:55~15:17 「古代車両の輪構造と牙飾」
佐々木堯(関西大学)
- (9) 15:17~15:39 「島根県における社寺参詣鉄道の系譜と技術文化史的意義—旧大社駅を通して—」
○堤 一郎(茨城大学)・城市孝志(JR西日本)・和田昇司(JR西日本)・陰山健二(JR西日本)・小川千春(JR西日本)

- (10) 15:39~16:01 「京都が生んだ科学技術の粋—島津ダミアナ号—」 ○星 朗(東北学院大)・緒方正則(元関西大学)・池森 寛(西日本工業大学)

【休憩】 16:01~16:10

【研究発表講演(4)技術教育・技術教育史学】 16:10~17:16

- (11) 16:10~16:32 「福山上水の歴史についての考察—赤穂上水との比較—」 南 正晴(元三菱重工)
- (12) 16:32~16:54 「計算尺製作による技術(史)教育」
吉田喜一(元都立産業技術高専)
- (13) 16:54~17:16 「機械製図の文化の変革に関する研究—第15報 製図の文化・製図論について(その2)」 ○平野重雄(東京都市大学,株アルトナー)・喜瀬晋(株アルトナー)・関口相三(株アルトナー)・奥坂一也(株アルトナー)

【交流会】 18:00~20:00 (研究発表講演会場と同じ)

【見学会】

日時:平成28年12月11日(日) 8:30~16:30

集合場所:松江城前8:30

8:30松江城→小泉八雲記念館→10:30堀川遊覧(松江城堀)→(11:45昼食 サンラポーむらくも)→13:00松江歴史館→14:00公用車移動→14:30神魂神社(本殿は現存する日本最古の大社造りで国宝)→15:30八重垣神社(縁結びの神社)

解散:集合場所と同じ 16:30頃

【参加費】

研究発表講演会参加登録費 3000円 (講演発表論文集1冊代金を含む)

交流会費 5000円

弁 当 1000円

見学会参加費 5000円 (交通費・入場料・昼食代・保険料込)

【参加申込方法および期日】

11月29日(火)17時必着 ニュースターに同封の参加申込用紙に記入し、下記まで郵送またはFAXでお申込みください。参加者名簿その他諸手続きのため、期日の厳守に御協力ください。

【申込先】

〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル6F
(株)プラスワン気付 日本技術史教育学会 2016年度全国大会実行委員会 FAX:03-3835-2494

【実行委員会】

久間英樹(松江高専)、渡部紘一(元松江高専)、本多将和(松江高専)、武長玄次郎(木更津高専)、堤 一郎(茨城大学)

新会長挨拶

牛山 泉(足利工業大学)

此の度、会長を拝命いたしました足利工業大学理事長の牛山 泉です。この3月で学長を退任し、学会活動もそろそろ縮小しようと考えていた矢先、思わぬ会長就任となりました。

私自身は、当学会設立のころからの会員であり、石油危機を契機に、研究分野を熱機関から風力など再生可能エネルギー利用に変えたことから、風力利用の歴史のない日本においては欧州諸国の風力利用の歴史を学ぶ必要がありました。また、JICA国際協力機構を通じて開発途上国への技術支援をしていく上で、技術の歴史の中から、途上国用の適正技術を抽出し、これを活用することができました。また、海外ではTIMS国際風水車学会での活動も楽しいものでした。

古来、「温故知新」とか「賢者は歴史に学び、愚者は経験に学ぶ」というように、歴史に学ぶことの重要性が説かれておりますが、技術の世界においても全く同様であり、先行き不透明な時代である今日こそ、過去の英知に学んで、技術の世界のあるべき方向を指し示すのが本学会の重要な役割であると考えております。当学会が創設 20 周年を迎えた今、会員の皆様のご協力をいただき、30 周年に向けて有用な情報を発信する魅力ある学会を形成して参りたいと思っております。

下記のように新規理事が決まりましたので、お知らせします。

会 長(理事)

牛山 泉

理 事

堤 一郎(筆頭・総務兼務)

鈴木夏夫(事務局長・総務兼務)

丹野哲也・平野重雄・山舘 順(総務)

武長玄次郎(企画)

桑原啓一・田中明美(編集：学会誌担当)

穂積洋一(編集：ニューズ担当)

中村純一(事務局)

理 事(地区担当)

佐藤和敏(北海道)・小野寺英輝(東北)・

佐野 浩(中部)・渡部紘一(近畿・関西支

部)・吉田 勉(中国・四国・九州・沖縄)

監 事

田中道彦・武藤康彦

顧 問

三輪修三・林 邦夫・大川時夫・下間頼一・

白井靖之・林 和宏

なお今回退任した理事は、大久保英敏・佐藤建吉・林 和宏の諸氏です。理事会へのご尽力にお礼を申し上げます。

【関西支部総会案内】

関西支部の行事案内

関西支部 2016 年度総会・研究発表講演会の研究発表を募集します。

◆開催日時:2017年3月5日(日)9:30-17:30

◆開催場所:大阪産業大学梅田サテライトキャンパス(大阪駅前第3ビル19階レクチャールームA)

◆研究発表講演の申込方法:全国大会研究発表講演申込要領にしたがってお申し込みください。申込用紙ダウンロード

URL:<http://jseht.world.coocan.jp/index.htm>

◆発表申込締切:2016年12月7日(水)17時必着

◆発表原稿提出期限:2017年2月8日(水)17時必着

◆申込先:〒651-2228 兵庫県神戸市西区見津が丘5丁目3-1、上村航機株式会社 西神戸工場、中辻 武(関西支部幹事)、Tel: 078-995-7571 Fax:078-995-7572、E-mail:nakatuj@uk-kk.co.jp

※会場の使用時間の制約のため、申込みが多いときは受付先着順または発表時間20分を15分に短縮することがあります。※見学会は2017年3月4日(土)に京都鉄道博物館で開催します。概要は後日ニューズ第109号でお知らせします。

【国際会議】

「機械設計・機械技術史2017」開催予告

2017年8月末～9月上旬(予定)に、中国・北京市北京航空航天大学で、標記国際会議開催の打診が中国側から届きました。これを受けて理事会では国際会議開催実行委員会を組織し、準備を始めることに致しました。詳細は本学会ホームページとニューズレター第109号でご案内する予定です。会員各位には本国際会議への参加をぜひご検討ください。

【名誉受賞報告】

本学会会長牛山泉氏が2016年10月31日から11月2日まで、東京大学安田講堂で開催された第15回 WWEC2016 世界風力エネルギー会議において、風力発電における国内外の長年わたる貢献が評価され WWEC 名誉賞を、日本人として初めて授与されました。



【論文投稿】

【今後の「学会誌の論文投稿」について】

1.お詫び

2016年度はこれから2冊発行するのは時間的に無理であり、申し訳ありませんが、今年度に限り、第18巻第1.2合併号として、2017年3月に発行いたします。これは、今年度の新規理事選出が遅れたための措置です。

2.論文の投稿方法

- 論文原稿の提出は、1)投稿票、2)原著論文、をPDFに変換し、「jseht.toukou@gmail.com」あてに電子メールで送付してください。
- 原稿の書式は、現状のもの(学会誌、ホームページに掲載)といたします。但し、メール送付時の「タイトルと本文」に、必ず「投稿」という文字を入れてください。
- 原稿到着後、受け付けを電子メールで返信し、査読作業に入らせていただきます。できるだけ多くの論文を掲載いたしたく、皆様の投稿をお待ちしております。

【新入会員紹介】

□本多将和(島根県)

個人情報につき、氏名・居住地のみ掲載(敬称略)

【学会ホームページアドレス変更のお知らせ(重要)】

学会のホームページアドレスが変更になりました。新しいアドレスは以下になります。ブックマーク等に登録されている方は変更をお願い致します。

<http://jseht.world.coocan.jp/index.htm>

【理事会議事録】

◆2016年度第1回臨時理事会

日時:2016年7月30日(土),15:15~17:00,場所:東京大学工学部6号館175教室,出席者:林・平野・堤・佐野・武長・田中(明)・穂積・山舘

議題 1)次期理事候補者選出の件,2)次回臨時理事会:2016年8月29日(予定)

◆2016年度第2回臨時理事会

:2016年8月29日(月),理事会開催を予定したが、会場の都合で中止となり電子メールによる審議に変

更した。新規理事候補者案を理事会内で再検討し、その結果を会員に郵送し、2016年9月30日(金)までに回答を頂き、この理事会提案は承認された。

◆第143回(通算189回)理事会

日時:2016年10月22日(土),15:00~17:30,場所:東京大学工学部6号館175教室,出席者:牛山・堤・吉田・武長・田中(明)・鈴木・桑原・山舘
議題0)新会長・理事挨拶,理事委嘱状交付,1)前回(第142回),第1回臨時理事会議事録案及び新規理事候補者案決定に至る経過報告案承認,2)各部門報告(前理事会担当者による)〈総務(会員動向,会費納入状況と会費未納者宛て催促文書発送,学会HP更新,日本学術会議宛て新規役員改選報告,日本科学史学会との事業共催案,その他)、企画(2016年度全国大会開催),編集(ニューズレター第108号編集案,学会誌発行時期の変更),国際会議(報告未提出)〉,3)理事役割分担決定,4)「日中機械設計・機械技術史国際会議2017」開催の打診と実施準備,5)2016年度事業の一部変更,6)その他,7)次回理事会:2016年12月17日(土)予定

【編集後記】

今年度の全国大会はご案内の通り島根県松江市で開催いたします。見学会では昨年国宝に指定された松江城はじめ神魂神社・八重垣神社等を巡ります。是非ご参加ください。また、会員の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。牛山 泉氏を新会長に迎え、新たな理事会が動き始めました。本学会発展のため、理事会一同協力し、努力していく所存でございます。皆様の更なるご指導とご協力を、どうぞよろしくお願い致します。(穂積洋一)



日本技術史教育学会ニューズレター 第108号

2016年10月25日 印刷
2016年10月31日 発行



技 術 史 教 育

Education for History of Technology

発行者
編集

日本技術史教育学会 会長 牛山 泉
日本技術史教育学会
(株) プラス・ワン気付 日本技術史教育学会 事務局
〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル6F
TEL/FAX: 03-3835-2494
E-Mail: jseht@nifty.com